

# 第4回

# 舞鶴市廃棄物減量等推進審議会

平成29年4月25日

# 循環型社会の形成に向けた 新たな取り組みについて

① 容器包装リサイクルに関する取り組みについて

② リデュース、リユースの推進について

③ ライフスタイルの変化や高齢化などへの対応について

## ① 容器包装リサイクルに関する取り組みについて

- 国において、環境基本計画、循環型社会形成推進計画を策定するなど、**[1]廃棄物等の発生抑制、[2]循環資源の循環的な利用及び[3]適正な処分が確保**されることによって、天然資源の消費を抑制し、環境への負荷ができる限り低減される社会への対応が求められている。

■平成10年 不燃ごみのリサイクルフラザ稼働

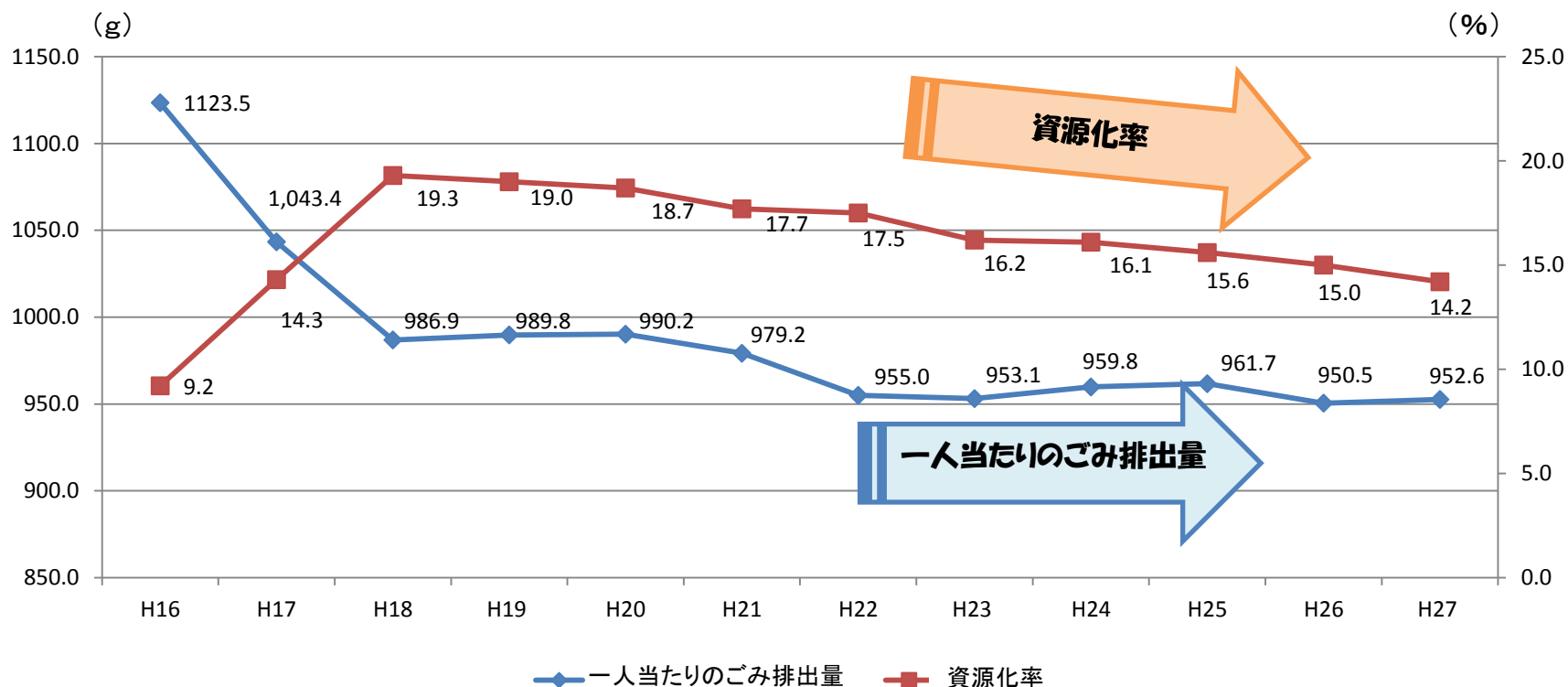


**3分別 → 6種9分別**

■平成17年 指定袋制による可燃ごみ有料化にあわせて古紙の分別回収を実施

# 現状の課題

■ 近年はごみの排出量が横ばい傾向。資源化率は低下傾向。



■ 容器包装リサイクル法への一部未対応

➡ 資源化の対象である【プラスチック製包装類】の焼却処理

■ プラスチック製容器包装類の資源化量が少ない

# ②リデュース・リユースの推進について

## 循環型社会形成推進基本法（H13年施行）の概要

### **【1】形成すべき「循環型社会」の姿を明確に提示**

「循環型社会」とは、(1)廃棄物等の発生抑制、(2)循環資源の循環的な利用及び(3)適正な処分が確保されることによって、天然資源の消費を抑制し、環境への負荷ができる限り低減される社会。

### **【2】法の対象となる廃棄物等のうち有用なものを「循環資源」と定義**

法の対象となる物を有価・無価を問わず「廃棄物等」とし、廃棄物等のうち有用なものを「循環資源」と位置づけ、その循環的な利用を促進。

### **【3】処理の「優先度を初めて法定化」**

**(1)発生抑制(2)再使用**(3)再生利用(4)熱回収(5)適正処分との優先順位。

### **【4】国、地方公共団体、事業者及び国民の役割分担を明確化**

循環型社会の形成に向け、国、地方公共団体、事業者及び国民が全体で取り組んでいくため、これらの主体の責任を明確にする。

### **【5】政府が「循環型社会形成推進基本計画」を策定**

### **【6】循環型社会の形成のための国の施策を明示**

## 舞鶴市の2Rの取り組み

### ■可燃ごみの有料化(平成17年度から)

**有料化前から比べると平成27年度実績で約3割の減量**

### ■市民への広報等による啓発活動

**ごみ分別ルールブック、ごみNEWSの発行**

### ■生ごみのたい肥化の促進

**電気式生ごみ処理機・生ごみ堆肥化容器の購入補助**

### ■リサイクルプラザでの啓発活動

**フリーマーケットの実施、再生品の展示・提供など**

### ■まいづる環境市民会議への支援

**おもちゃ交換会「かえっこバザール」、**

**ごみ減量体験型・環境学習プログラム「買い物ゲーム」など**

### ■ごみに関する出前講座の実施 など

# 京都府管内における1人1日当たりごみ排出量

(平成27年度実績)

順位		g/人日
1	京丹波町	538
2	南丹市	650
3	大山崎町	664
4	南山城村	708
5	向日市	726
6	和束町	775
7	精華町	775
8	木津川町	792
9	亀岡市	801
10	八幡市	808
11	長岡京市	816
12	宇治市	835
13	京田辺市	844
14	城陽市	876

順位		g/人日
15	京都市	884
16	綾部市	908
17	伊根町	924
18	福知山市	946
19	与謝野町	957
20	井出町	958
21	舞鶴市	964
22	笠置町	979
23	宇治田原町	1,099
24	京丹後市	1,198
25	宮津市	1,210
26	久御山町	1,280
	京都府	877
	全国平均	939

※環境省「一般廃棄物処理実態調査結果」を基に加筆・修正

# ③ライフスタイルの変化や高齢化などへの対応について

## 第3回審議会のまとめ

### 【分別の問題】

アンケート調査の中でも、分別が細くなるのは手間だからダメという意見もあったがそこをどうするか。

### 【立ち番の問題】

平成10年から始まった制度を、何か違う仕組みを考えていくのか、新しいシステムで立ち番の制度を今後どう見直していくかということが考える必要がある。高齢化の問題と併せて考えていく必要がある。

### 【排出困難者の問題】

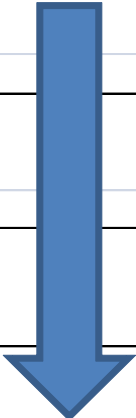
排出困難な人々をどのようにサポートして支援していくのかを立ち番とも関連して考えていけないといけない。

### 【コミュニティの問題】

舞鶴市というコミュニティ全体の中でもう少し細かく分けて考えていく必要があるかもしれない。コミュニティ全体を一体どうしていくのか、市民の認識をどう高めていくのかをこれから真剣に取り組まないと、単にシステムだけを作って動くかといったらそういうわけにはいかないと思うので、何らかの仕組みと具体的に市民に知っていただくような仕掛けを考えないといけない。



# 舞鶴市廃棄物減量等審議会スケジュール(案)

平成29年度	4月25日	第4回	◆【諮問】循環型社会の形成に向けた新たな取り組みについて ◆《協議1》容器包装リサイクルに関する取り組みについて
	7月	第5回	◆《協議1》容器包装リサイクルに関する取り組みについて
	8月	中間答申	
	10月	第6回	 <div data-bbox="923 648 1539 1011" style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>◆中間答申後に残りのテーマを議論 (各テーマ2回程度)</p> </div>
	12月	第7回	
	2月	第8回	
	5月	第9回	
平成30年度	7月	第10回	◆これまでの総括 ◆答申案の提示
	9月	第11回 (答申)	◆答申(案)の内容確認、文言修正 → (終了後) 答申